

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233132112	道徳教育の理論と実践 Theory of moral education	中野真悟	✓	教職	2	選択	3後期

科目の概要

本授業では、道徳教育に関する指導力を高めるために、道徳教育や道徳科の目標や内容について理解する。また、道徳科の指導計画や学習指導の展開を理解する。他者の考えを取り入れながら自身の考えや意見をグループ討議や全体発表において積極的に発信することで、建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して解決していくことができるようにする (DP①)。また、学んだことを活用して自分なりの学習指導案を作成したり模擬授業を行ったりすることで、自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができるようにする (DP③)。担当教員は小学校道徳教科用図書の編集委員を務めており、道徳教育に関する論文や著書を多く執筆してきた経験がある。

学修内容	到達目標
① 道徳教育の歴史や、道徳教育と道徳科の目標や内容を理解する。 ② 道徳科の指導計画や学習指導の展開などを理解する。 ③ 基礎的内容の理解を基にして、具体的に学習指導案を書き模擬授業を行う学修活動を実施する。	① 道徳教育の歴史や、道徳教育と道徳科の目標や内容を理解することができる。 ② 道徳科の指導計画や学習指導の展開などを理解することができる。 ③ 基礎的内容の理解を基にして、実践的な学修活動に活用することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自身の経験や現在の生活と結び付けながら、関心をもって学修活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自身で目標を設定し、その達成に向かって最後まで学修活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	状況を把握して自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学修における課題等に対して、多様な考え方をもち柔軟に取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループ討議や全体発表において、考えや意見を相手に伝えるように表現することができる。
	傾聴力	グループ討議や全体発表において、他者と自分の意見を比較し取り入れながら考えを深めることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻や私語等の行動を自身でコントロールし、学修活動を進めることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科道徳編』文部科学省、教育出版、172頁
 テキスト：『中学道徳1 きみがいちばんひかるとき』光村図書出版
 参考文献：『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科道徳編』
 オープンエデュケーション：「道徳教育アーカイブ～「特別の教科道徳」の全面実施～」(文部科学省)
<https://doutoku.mext.go.jp/>

他科目との関連、資格との関連

本科目「道徳教育の理論と実践」は、教職科目として配置され、「教職入門(1年)」「教育心理学(1年)」において基礎的理解を図り、その後に履修する「生徒指導論(2年)」「特別活動の指導法(3年)」において専門的理解を深め、「栄養教育実習(4年)」において実践的理解へと発展する。

関連する資格：栄養教諭1種

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> グループ討議や全体発表会等では、積極的に意見を発表したり話し合いを行ったりすると良い。 毎時間しっかりと予習・復習を行い、理解を深めておくとう良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が許可したとき以外は、授業中に携帯を使用することは禁止とする。 授業中は私語を慎む。 30分を超える遅刻は欠席とする。なお、特別の理由がある場合はこの限りでない。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
		レポート		70	①	✓	
					②	✓	
③					✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			20	①	✓		
				②	✓		
	③			✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> 最終レポートで、論点を明確に整理しながら、考えや意見を論理的に記述することができる。 小レポートで、学修内容の要点を的確におさえ、考えや意見を整理して記述することができる。 グループ討議や全体発表において、他者の考えや意見の良さを取り入れながら自身の考えを深め、それを発言や発表で表現することができる。 積極的な態度や姿勢で授業に参加し、学修活動全般において学びを深めようとする意欲がある。 学修を深めようとする意欲をもって提出物に取り組み、その成果が優れている。 上記の5項目すべてにおいて優れた成績を取っている場合にSとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 最終レポートで、自分自身の考えや意見を記述することができる。 小レポートで、学修内容も踏まえながら、考えや意見を記述することができる。 グループ討議や全体発表において、自身の考えや意見を表現することができる。 自律した態度で授業に参加し、学修活動に取り組むことができる。 提出期限や形式を守って提出物に取り組んでいる。 上記の5項目を満たしていないレポートや討議・発表、レポートの提出遅れがある場合はCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・ 道徳教育の歴史や、道徳教育と道徳科の目標を理解する。	・ ガイダンス ・ 講義 ・ ワークシート	・ 道徳教育の歴史や、道徳教育と道徳科の目標について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) 本授業のシラバスをあらかじめ読んでおくこと。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておくこと。	180	主体性 傾聴力 規律性
2	・ 道徳科の内容として、内容構成の考え方、内容項目の指導の観点を理解する。	・ 講義 ・ ワークシート ・ 課題のフィードバック	・ 道徳科の内容構成の考え方、内容項目の指導の観点について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp.19～25をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	・ 道徳科の内容項目の指導の観点を理解する。	・ 講義 ・ ワークシート ・ 課題のフィードバック	・ 道徳科の内容項目の指導の観点について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp.24～25をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	・ 道徳科の年間指導計画について、作成の方針、作成上で創意工夫する点や留意する点を理解する。	・ 講義 ・ ワークシート ・ 課題のフィードバック	・ 道徳科の年間指導計画作成の方針、作成上で創意工夫する点や留意する点について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp.70～75をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5	・ 道徳科の指導について、指導の基本方針や学習指導の展開を理解する。	・ 講義 ・ ワークシート ・ 課題のフィードバック	・ 道徳科の指導の基本方針や学習指導の展開について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp.76～85をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6	・ 道徳科の特性を生かした計画的・発展的な指導や、問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導を理解する。	・ 講義 ・ ワークシート ・ 課題のフィードバック	・ 道徳科の特性を生かした計画的・発展的な指導や、問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp.86～98をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	・ 情報モラルや現代的な課題に関する指導、道徳科の教材に求められる内容を理解する。	・ 講義 ・ ワークシート ・ 課題のフィードバック	・ 情報モラルや現代的な課題に関する指導、道徳科の教材に求められる内容について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp.99～108をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思う単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
8	・ 教員による師範授業としての模擬授業に生徒役として参加し、道徳科授業の流れを理解する。	・ 講義 ・ ディスカッション ・ グループ討議 ・ ワークシート ・ 課題のフィードバック	・ 模擬授業に生徒役として参加した体験を振り返り、道徳科の授業を行う際の配慮点を、ワークシートに記述できる。	(予習) 第5週で学んだ道徳科の指導(テキストp.76～85)を復習し、本時の模擬授業の参加に備えてくること。 (復習) 本時で参加した模擬授業を振り返り、今後自身が行う模擬授業の案を構想しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・道徳科の評価の意義、学習状況や成長の様子についての評価を理解し、評価の文章を作成する。	・講義 ・グループ討議 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・道徳科の評価の意義、学習状況や成長の様子についての評価について、整理しワークシートに記述できる。	(予習) テキストp.109～118をあらかじめ読み、本時の授業で重要だと思ふ単語や文などを書いてくること。 (復習) 本時の学修内容を振り返り、整理して理解しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	・教材を選び、模擬授業の学習指導案(略案)を作成する。	・講義 ・グループ討議 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・模擬授業の指導案(略案)を期日までに作成できる。	(予習) 第5週で学んだ道徳科の指導(テキストp.76～85)を復習し、本時の学習指導案の作成に備えてくること。 (復習) 本時で構想した学習指導案を振り返り、よりよい案はないかを検討しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
11	・教材を選び、模擬授業の学習指導案(略案)を作成する。	・講義 ・グループ討議 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・模擬授業の指導案(略案)を期日までに作成できる。	(予習) 第5週で学んだ道徳科の指導(テキストp.76～85)を復習し、本時の学習指導案の作成に備えてくること。 (復習) 本時で構想した学習指導案を振り返り、よりよい案はないかを検討しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
12	・作成した学習指導案を使って模擬授業を行い、振り返る。	・講義 ・ディスカッション ・グループ討議 ・発表 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・参加した模擬授業を振り返り、ワークシートに記述できる。	(予習) 第5週で学んだ道徳科の指導(テキストp.82～85)を復習し、本時の模擬授業に備えてくること。 (復習) 本時で実施した模擬授業を振り返り、よりよい指導法はないかを検討しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
13	・作成した学習指導案を使って模擬授業を行い、振り返る。	・講義 ・ディスカッション ・グループ討議 ・発表 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・参加した模擬授業を振り返り、ワークシートに記述できる。	(予習) 第5週で学んだ道徳科の指導(テキストp.82～85)を復習し、本時の模擬授業に備えてくること。 (復習) 本時で実施した模擬授業を振り返り、よりよい指導法はないかを検討しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
14	・作成した指導案を使って模擬授業を行い、振り返る。	・講義 ・ディスカッション ・グループ討議 ・発表 ・ワークシート ・課題のフィードバック	・参加した模擬授業を振り返り、ワークシートに記述できる。	(予習) 第5週で学んだ道徳科の指導(テキストp.82～85)を復習し、本時の模擬授業に備えてくること。 (復習) 本時で実施した模擬授業を振り返り、よりよい指導法はないかを検討しておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
15	・オンデマンド配信 ・これまで学修したことを振り返り、感想や今後実践してみたいこととして考えたことをレポートにまとめる。 ・google classroomによる課題の提出	・ワークシート ・課題のフィードバック	・本時間内に最終レポートを提出できる。	(予習) これまでの計14週で学修してきたことを復習しておくこと。 (復習) これまでに学修したことを復習すること。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力